

学習のまとめと表現

オセアニア州の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.127(参照するページ p.120~125)

①【ワードチェック】オセアニアで学習してきた次の言葉が説明できたら、

□に印を入れよう。

メラネシア

「黒い島々」という意味の言葉で、赤道よりも南側で経度180度より西の地域。

ポリネシア

「たくさんの島々」という意味の言葉で、経度180度より東の地域。

ミクロネシア

「小さい島々」という意味の言葉で、赤道よりも北側で経度180度より西の地域。

さんご礁しょう

海にすむ生物の一種であるさんごが集まって形成される地形で、水温が高くきれいな海の浅瀬に見られる。  
\*教科書 p.184などを参照。

キリスト教

約2千年前にパレスチナで生まれたイエスの教えを信仰する宗教。

牧畜ぼくちく

主に衣食の原料である乳・肉・毛などを得ることを目的として、牛・豚・羊・らくだ・トナカイなどの家畜を飼育すること。

移民

生まれ育った国から経済的、宗教的、政治的な理由などで、異なる国へ移り住む人々。

先住民

ヨーロッパからの移民が入植する以前から住んでいる人々。アボリジニは採集や狩猟をしながら生活してきたオーストラリア大陸の先住民、マオリはポリネシアから移住してきたとされるニュージーランドの先住民。

(アボリジニ、マオリ)

白豪主義はくごう

オーストラリアで第二次世界大戦前まで行われていた、白人以外の移民をしめ出す政策のこと。

多文化主義

さまざまな文化的な特徴をもった異なる民族が、お互いの文化を尊重し合いながら、平等に暮らすことを目標とする考え方。

掲載されている解答は、一つの例です。  
自分の解答が正しいか気になった場合は、  
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま